

第 119 回・日商簿記検定試験 3 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

当座預金	受取手形	売買目的有価証券	未収金
前払金	立替金	手形貸付金	土地
仮払金	支払手形	未払金	前受金
預り金	手形借入金	仮受金	資本金
引出金	売上	受取手数料	受取利息
固定資産売却益	仕入	給料	旅費交通費
手形売却損	支払手数料	支払利息	固定資産売却損

1. 以前に売上代金の一部として受け取っていた得意先振り出しの約束手形 20,000 円を取引銀行で割り引き、割引料として 500 円を差し引かれた手取金は当座預金とした。
2. 売買を目的として、他社が発行する株式 2,000 株を 1 株あたり 100 円で買い入れ、代金は証券会社に対する売買手数料 2,000 円とともに、小切手を振り出して支払った。
3. 約束手形を振り出して 300,000 円を借り入れ、その全額が当座預金の口座に振り込まれた。
4. 従業員が出張から戻ったので、旅費の精算を行い、残金 20,000 円を現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。なお、従業員に対しては、出張に当たり、旅費の概算額 100,000 円を手渡していた。
5. 以前に購入した土地（購入価格 1,000,000 円、購入手数料 30,000 円）を、1,100,000 円で売却し、代金は後日受け取ることにした。